

企画展「箱と包みを開いてみればー文化財の収納法ー」 展示資料目録

I 古神宝の箱と包み

番号	指定	名 称	員数	時 代	所 蔵
1	国宝	古神宝類のうち 朱塗唐櫃 (足つきの箱)	1合	南北朝時代 明德元年(1390)	熊野速玉大社蔵
2	国宝	古神宝類のうち 松喰鶴蒔絵御衣箱 (衣を入れる箱)	1合	南北朝時代 明德元年(1390)	熊野速玉大社蔵
3	国宝	古神宝類のうち 相 萌黄小葵浮線綾丸文二重織 (内側に着る衣)	1領	南北朝時代 明德元年(1390)	熊野速玉大社蔵
4	国宝	古神宝類のうち 牡丹蒔絵手箱および内容品 (牡丹の文様をあらわした手箱と中に入る道具)	一具	南北朝時代 明德元年(1390)	熊野速玉大社蔵
5	国宝	古神宝類のうち 椰双鶴文鏡 (椰と鶴の文様をあらわした鏡)	1面	南北朝時代 明德元年(1390)	熊野速玉大社蔵
6	国宝	古神宝類のうち 黒漆平文鏡箱 (鏡を入れる箱)	1合	南北朝時代 明德元年(1390)	熊野速玉大社蔵
7	国宝	古神宝類のうち 赤地錦袋 (鏡と鏡箱を入れる袋)	1口	南北朝時代 明德元年(1390)	熊野速玉大社蔵

II 紀伊徳川家ゆかりの箱と包み

番号	指定	名 称	員数	時 代	所 蔵
8		徳川家康像 (徳川家康の姿を描いた絵)	1幅	江戸時代(17世紀)	紀州東照宮蔵
9	和歌山県	冠 (徳川家康所用) (徳川家康が使った冠)	1頭	桃山～江戸時代 (16～17世紀)	紀州東照宮蔵
10	和歌山県	芦雁蒔絵冠箱 (芦と雁の文様をあらわした冠を入れる箱)	1合	桃山～江戸時代 (16～17世紀)	紀州東照宮蔵
11		陣貝 (徳川家康所用) (徳川家康が合戦で使った音を鳴らすためのほら貝)	1口	桃山～江戸時代 (16～17世紀)	紀州東照宮蔵
12	重文	太刀 銘 因州住景長 附 糸巻太刀拵 (景長が作った太刀とそのかざり)	1口	刀身:室町時代 (15世紀) 拵:江戸時代 (18世紀)	須佐神社蔵
13		楽箏 (雅楽のときに使う箏という弦楽器)	1面	江戸時代 (17～18世紀)	報恩寺蔵

III 茶道具にまつわる箱と包み

番号	指定	名 称	員数	時 代	所 蔵
14	和歌山県	唐物茶壺 銘 佐藤 (「佐藤」という名前の茶葉を入れる壺)	1口	中国・明時代 (15～16世紀)	紀州東照宮蔵
15	和歌山県	牡丹唐草文金華山裂口覆 (茶壺の口を覆う裂)	1枚	中国・明時代 (16～17世紀)	紀州東照宮蔵
16		偕楽園焼 灰釉平茶碗 銘 新樹 (「新樹」という名前のうすい緑色の浅い茶碗)	1口	江戸時代(19世紀)	和歌山県立博物館蔵
17		清寧軒焼 赤楽茶碗 銘 福祿寿 (「福祿寿」という名前の赤い茶碗)	1口	江戸時代(19世紀)	和歌山県立博物館蔵
18		偕楽園焼 白釉振出茶入 (粉末の茶葉を入れる白い器)	1口	江戸時代 文政2年(1819)	個人蔵
19		南紀男山焼 金彩虫籠香合 (虫籠の形をしたお香を入れる金色の器)	1口	江戸時代(19世紀)	和歌山県立博物館蔵
20		竹組手提茶籠および内容品 (手提つきの籠と中に入る持ち運び用の茶道具)	一具	江戸時代～近代 (19～20世紀)	個人蔵

IV 箱書をする意義

番号	指定	名称	員数	時代	所蔵
21	和歌山県	瑞花双鸞八稜鏡 (おめでたい花と鳥の文様をあしらった鏡)	1面	平安時代(12世紀)	丹生都比売神社蔵
22		朱塗蓮華形鏡箱 (蓮の花の形をした鏡を入れる箱)	1合	江戸時代(17世紀)	丹生都比売神社蔵
23		偕楽園焼 黒楽玉香合 (玉の形をしたお香を入れる黒い器)	1合	江戸時代 文政10年(1827)	和歌山県立博物館蔵
24		歳寒三友図巻 野呂介石筆 (野呂介石が描いた松竹梅の絵巻)	1巻	江戸時代 文化8年(1811)	個人蔵
25		芳野図 矢倉安安筆 (矢倉安安が描いた吉野の絵巻)	1巻	江戸時代(18世紀)	和歌山県立博物館蔵

V 身近な文化財を収納するために

番号	指定	名称	員数	時代	所蔵
26		旭日群鶴図 桑山玉洲筆 (桑山玉洲が描いた朝日に鶴の絵)	1幅	江戸時代 安永4年(1775)	個人蔵
27		和歌祭図屏風 坂井芳泉筆 (坂井芳泉が描いた和歌祭の屏風)	6曲1双	近代 昭和4年(1929)	和歌山県立博物館蔵
28		大般若経および経櫃 (大般若経というお経と、それを入れる足つきの箱)	100帖・ 1基	奈良時代～江戸時代 (9～19世紀)	龍谷寺蔵
29		興山寺聖教函 第三十一函 (興山寺の本箱と、その中に入っている本)	1函・ 70冊	江戸時代 (17～19世紀)	興山寺蔵
30		畔田翠山自筆写本類 (畔田翠山が自分で書き写した本)	9冊	江戸時代(19世紀)	和歌山県立博物館蔵
31		鶴時絵面箆 (鶴の文様をあらわした仮面を入れる箆)	1基	江戸時代 (17～18世紀)	個人蔵
32		能面 猩々 (能という演劇で妖精の少年役がつける仮面)	1面	桃山時代 (16～17世紀)	個人蔵
33		能面 深井 (能という演劇で中年の女性役がつける仮面)	1面	桃山時代 (16～17世紀)	個人蔵
34		柳行李 (柳の枝で作った衣服を入れる箱)	1合	江戸時代～近代 (19～20世紀)	和歌山県立博物館蔵
35		熨斗目 (腰の部分に別の文様をあらわした男性用の衣)	1領	江戸時代 (18～19世紀)	和歌山県立博物館蔵
36		袴 (下半身につけるズボン状の衣)	1腰	江戸時代 (18～19世紀)	和歌山県立博物館蔵

※指定欄の「国宝」は国宝、「重文」は国の重要文化財、「和歌山県」は和歌山県指定文化財を示します。
 ※作品保護のため、展示資料が変更になる場合がありますので、ご了承ください。